

—ぬっくに電話相談したときはどんな気持ちだった？

私は、両親との関係がしんどくて家を出たいと思ってぬっくに電話しました。電話したときは、本当にシェルターで保護してくれるのか、家を出られるのか不安でした。でも、弁護士さん(コタン)が迎えにきてくれて、初めて家を出たい気持ちを理解してくれる人がいたと思いました。

—ぬっくハウスで過ごしてみてどうだった？

ゆっくり休めました。家では部屋に鍵をかけられず親が入ってくることもありましたが、部屋に鍵がついていて、部屋にこもりたいときはこもらせてくれたのがありがたかったです。

ぬっくハウスの中では、スタッフさんと一緒に料理やお菓子を作ったり、ギターの弾き方を教えてもらったり、普通の日常が楽しかったです。

スタッフさんは、私が言ったことを否定せずに1回受け入れてくれる、肯定から始めてくれるのが嬉しかったです。退居するとき、スタッフさんと離れるのが寂しかったのを覚えています。

—コタンの存在はどうだった？

コタンに就いてもらってよかったです。大人は敵だと思っていたので、初めて大人が自分の味方についてくれた、一人じゃないと思えました。

コタンは親と話をするときも、中立の立場じゃなくて私の気持ちに寄り添った言い方をしてくれたのが良かったです。私を子どもとして扱うのではなく、一人の人間として話を聞いてくれた、私の意思を尊重してくれたと感じました。

—退居した後のコタンとの関わりは？

最初は、シェルターを退居してある程度時間が経ったら関係が切れると思っていましたが、違っていました。

今でも何かあればコタンに相談していて、それが心の安心になっています。頼りすぎていて、なかなか自立できないのかもしれないけど…(笑)。

何かあってもコタンに相談したらいいと思って一歩踏み出せることもあるので、今後も関わり続けてほしいです。

—子どもシェルターはどんな存在？

私は当時18歳を超えていたので、児童相談所に相談に行っても「児童ではない」と言われて保護してもらえませんでした。でも、大人向けの相談窓口に行くと子どもとして扱われて、誰も助けてくれませんでした。

ぬっくハウスは18歳を超えていても入ることができたので、子どもシェルターがあって良かったと思いました。ぬっくに相談していなかったら全然違う人生になっていたかもしれないと思います。

—コタンにはどんなふうに関わってほしい？

決めつけや否定をしないでほしいです。間違っていることは間違っているとってほしいけれど、いったんは気持ちを受け入れてほしい、認めてほしいと思います。

何をしんどく感じるかはそれぞれの子どものよって違うので、自分のものさしだけで測らずに、まずは話を聞いてほしいです。



● ご支援のお願い

ぬっく会員募集

正会員 入会金 5,000円
年会費 5,000円

賛助会員 個人1口 3,000円
(年会費) 法人1口 10,000円

現金・物品寄付

- 若者向けのもの
- お箸 ●マグカップ
- お米 ●お菓子等

ぬっく応援会員

毎月500円～
月1回自動決済

お問い合わせ

会費納入・ご寄付は
下記QRまで



入会金・会費・
ご寄付の
振込先

三菱UFJ銀行 梅田新道支店 普通預金 0206469
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく
ゆうちょ銀行 〇九九店 当座預金 0208341
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく



NPO法人 子どもセンター

ぬっく



News Letter Vol.16

2024年3月

…… 理事長ご挨拶 ……

3月1日・2日にかけて京都で開催された全国付添人経験交流集会に参加しました。これは各弁護士会の子どもの権利委員会で活動する弁護士が集まり、少年事件の付添人活動をはじめ、子どもの権利保障に関する活動について報告や意見交換をする場です。その中の京都弁護士会主催の分科会(「拒食・過食・自傷行為といった問題を抱える子どもに対する対応と援助」)に登壇されていた松本俊彦先生(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長)が、リストカットの鎮静効果について、「呼吸を止めて水面下に潜りグーッと我慢していたのを、身体を切った瞬間水面上に顔を出しようやく息ができるイメージ」とおっしゃっていたのが印象的でした。私たちは、リストカットやOD等自傷行為を続ける子どもを前にすると、どうしたら自傷行為をしないで済むだろうかと考えがちで、それを止められないことに無力感を抱くことも多いですが、まずはそれをせざるを得ない記憶や気持ちがあることを受け止め、自傷行為によって今日生きのびることができたことに感謝したいと思いました。

末筆になりましたが、本年度も子どもセンターぬっくに支援、ご協力をいただきありがとうございます。理事長 玉野まりこ

ぬっく活動カレンダー

2023.10～2024.1

2023.11.25 … 全日本教職員組合定時制通信制部近畿ブロック交流集会において講演

2023.11.30 … 大阪府立住吉高等学校「総合的な探求の時間(SUKIPRO)」フィールドワークで1年生4名と面談し、子どもの貧困等への支援などについて説明

2023.12.6 … 大阪府人権教育セミナーにおいて「子どもの人権」をテーマに講演

2023.12.9 … 公益財団法人大阪YMCA開催の「2023年度子どもの声を聴くための基礎講座」において「子どもの声を聞くために必要な関わり・支援とは」をテーマに講演

2024.1.28 … 大阪男女いきいき財団30周年記念事業「大阪・関西 女性のみらい創造会議～大阪男女いきいき財団30周年感謝祭～」に登壇、「困難な状況にある女性への支援」をテーマに就労体験事業についてエピソードトーク

2024.1.30 … 高知弁護士会子どもの権利委員会委員の弁護士を対象とした、子ども担当弁護士についての研修で講義

自立援助ホーム Ma-Co_{まこ}が 開設しました!

入居している子どもはまだ少ないですが、体験入居や見学の子どもとも接して、養育的な支援の必要性を強く感じます。高校に通っている子どもたちを預かる中で、できたことを褒める、「おはよう」「ありがとう」など当たり前の声かけをする、食事時などの何気ない対話を大切に、「共にする、してもらう」心地よさを感じる経験を重ねてもらうことなどを心がけています。

ぬっくが関わる子どもたちに共通することかもしれませんが、これまで過ごしてきた環境の影響もあって、経験不足や自尊感情の低さ、自分で物事を選んだり決めたりすることが難しいといった面が感じられます。それでも、この年齢で入居の決断をした子どもたちに、対話をしながら寄り添い、向き合っていきたいと思います。

Ma-Coに初めて入居した子どもとの年末年始は、本来は家や友達と迎えるかもしれなかったことを考え、Ma-Coでの生活の始まりが少しでも良い思い出になって欲しいという気持ちで準備しました。クリスマスは、好きな食べ物を事前に聞き、唐揚げやピザ、サンドイッチにケーキなどを用意しました。お正月も、お節料理を作りました。

これからも、少しでも家庭と同じような雰囲気、ぬくもりのあるホームになるよう、子どもたちと共に成長していきたいと思っています。

(ホーム長 M)



スタッフの声

日々子どもたちと関わる中で、Re-Coがどのような場所なのか、聞く機会が多くなりました。その中で、「Re-Coは私の家だから、リラックスしたいやん」との言葉を聞きRe-Coが安心安全に生活できる居場所になっているのだと実感しました。これまで過酷な環境で暮らしてきた子どもたちにとって、Re-Coが本当に落ち着ける場所なのであれば、これからも、安心安全な場所を保つことができるよう、スタッフとして出来ることを模索し精進していきたいと感じました。また、子どもから「ここで暮らすようになってから人の気持ちを考えて発言することを心がけている」と聞いた時には、Re-Coは成長の場になっていることも実感し、Re-Coを共に支えて下さっている方々にもこの喜びを共有したいと、心から思いました。子どもたちは、少しずつではありますが、それぞれ成長しています。これから社会に出て実を結ぶことを願いながら、皆さまと共に子どもたちを支えていける存在でありたいです。(Re-Coスタッフ K)



心の傷にゆっくり向き合う時間もなく毎日頑張っている子どもたち。自立の目標に加えて、学校やアルバイトもして本当によく頑張っているなあと思います。彼女たちが頑張っている姿を見て、私も頑張ろういつも思います。イライラをぶつけられる時もあります。ですがツンツンしてても、「ってきます」が言えるところが可愛くて仕方ありません。

過去を振り返ると悲しいことが多かったかもしれないけれど、「Re-Coに来て良かった」と少しでも思ってもらえるように、子どもたちをあたたくサポートしていきたいです。(Re-Coスタッフ W)

クリスマス

イブは、ボランティアさんからクリスマスブーツなどのお菓子をいただき、スタッフやボランティアさんと一緒にUNOなどをして、楽しく過ごしました。

そして、子どもたちがクリスマスイブの夕食を調理ボランティアさんと一緒に作りました。メニューは、煮込みハンバーグ・ピザ・サラダ・チーズケーキで、とても豪華な夕食となりました!

一晩明けたクリスマスの朝には、ツリーの下にサンタクロースからプレゼントも届いており、子どもたちは喜んでくれていました。外出も自由にできない中ですが、少しでも楽しく過ごせたらいいなと思いました。



ぬっくハウスの 年末年始

お正月

お節料理が苦手な子も中にはいますが、今年もお煮しめや栗きんとんをスタッフが手作りました。楽しく友だちと過ごせる年末年始だといいいのですが、シェルターにいる間もせめてお正月気分を味わってもらえたらな...と思います。幸多き一年であることを願っています。



たくさんのご支援ありがとうございます!

ご寄付等くださった方 (敬称略、順不同) 2023.10.1~2024.1.31

渡邊国和、高間量子、鈴木資子、松本八千代、山本文代、坂本哲、大井仁美、杉村徹、岡本勝美、松本友子、中川雄太、石津文乃、沖亜記、内藤千賀、矢口敬子、椿本伸明、村上周、平内さくら、中山利加、上川和子、岡本弘美、大橋さゆり、奥美和子、川口いずみ、乾真希、中村年子、藤井美江、長谷川民子、渡辺由美子、日下千代子、渡邊かおり、桶谷千晶、石川美佐子、山縣文治、紅陽子、仲岡優子、藤田さえ子、宇田康子、鍋倉義明、黒田春恵、長田朋子、渡邊徹、宮崎誠司、野澤佳弘、中塚恒子、種子田穰、齊藤正実、藤田怜、宮地光子、松本淳、小林潤子、大阪商業大学公共学部中嶋ゼミナール3年一同、一般財団法人H2Oサンタ、認定NPO法人おてらおやつクラブ、大阪ホームサービス株式会社・穴見孔治、日証協子どもサポート証券ネット、豊生肥糧株式会社、国際ソロプチミスト大阪・梅田、浄長寺・川上玄有、コストコホールセールジャパン株式会社、千里寺・武田大信、吹田市社会福祉協議会、リユース&チャリティショップRui+・青野まどか株式会社数強塾・藤原進之介、チャリティショップめぐりもの・大野通子 他38名



応援会員は36名です

(旧マンスリーサポーター)

継続的なご支援に
感謝します

